

図書館基本構想実施状況(R1~R4)

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めています。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(1)市立の小中学校	学校図書館で市立図書館の本が利用できる仕組みを作る			実施項目	○	○	○	実施	花園中学校区(花園小・花園北小・玉串小)において内容を拡充した団体貸出を実施。通常では100冊2か月のところ、300冊まで2か月で、選書についても多忙な先生方の時間を奪わないように考慮し、選択の必要がない300冊セット・240冊セットのバックを用意するとともに、授業に関連する本のリクエストにも応える。事前に申込していただくと、貸出・返却は図書館が学校まで出向くもの。	H30.2	令和3年度からは、モデル校対応でなく、学校司書等を通じてリクエストに応えるなど、各校に適した団体貸出を市内全域で実施している。	
							実施項目		○	○	実施	リサイクル資料を学校に譲渡した。R4.3月36校2,316冊	H30.3	継続して隔年で実施する。	
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(2)リージョンセンター・公民館等	各施設の運営主体と連携・調整し図書スペースの改善に努める。また、身近なリージョンセンターでも市立図書館の本が利用できるように努める			実施項目	○		○	実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料をリージョンセンターへ譲渡すべく準備した。また、令和3年11月より、楠根・布施駅前市民プラザで出張図書館を実施し、リージョンセンターにおいて図書館サービスを提供できるようにした。	R2.2	依頼があれば継続して実施する。R4年7月より出張図書館による読み聞かせを開始。また、出張図書館へのタブレット持参を開始。	
							実施項目				実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料100冊を東大阪市立障害児者支援センターレバへ譲渡した。	H30.5	依頼があれば継続して実施する。	
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(3)団体貸出の強化	各種団体等へ団体貸出を紹介し、その効果的な使い方を提案し、利用促進に努める			実施項目	○	○	○	実施	H30年度から特別養護老ホーム「レーベンズポルト」へ団体貸出を開始した。老人ホーム内に永和図書館ミニ図書室を作られ利用いただいている。	H30.7	継続して実施する。	
							実施項目	○	○	○	実施	H29年度より、たまがわ高等支援学校、大阪府立みどり清朋高校への団体貸出を実施。R3年度は、府立たまがわ高等支援学校、府立みどり清朋高等学校、大阪商業大学高等学校へ貸出を実施。	H29.9	依頼があれば継続して実施する。	
							実施項目	○	○	○	実施	学童保育への団体貸出を継続実施中。R1年度の新型コロナウイルス感染症対策による図書館休館中には、希望する市立小学校の学童保育に児童書を届けた。	H24.3	依頼があれば継続して実施する。	
7	3.図書館サービス網の整備方針	3.2.既存施設の活用	(4)府立図書館等	近隣10市の図書館が利用できること、府立図書館の資料が利用できること、市民に公開されている大学図書館の情報などを周知			実施項目	○	○	○	実施	現在、10市と協定を結んでおり、相互に利用されている。大学図書館の情報も、各大学からのチラシ等を館内に設置している。	H28.4~	継続して実施する。	
8	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(1)四条図書館	(i)合築施設と親和性の高い機能を備える 新東部地域図書館は、郷土博物館、埋蔵文化財センター及び市史史料室との共用スペースを検討するほか、イベントをはじめとする様々な形で協力し、本市の歴史をテーマに市民が交流する場を提供する			実施項目				実施	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定、その後、R4年12月に公共施設マネジメント推進会議(以下「FM会議」という。)において、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として新たに整備する方向で準備を進めることが決定された。 なお、凍結期間中も郷土博物館や鴻池新田会所等のイベントに関連した書籍の展示、コーナーを設置するなど、連携した取り組みを実施した。	H30	継続して実施する。	
8	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(1)四条図書館	(ii)必要なスペースの確保 事務室や会議室、給湯室、トイレ、閲覧室等を合築される施設で共有することによってスペースを節約する等、設計・建設を担う自御者と知恵を出し合い、必要なスペースの確保に努める			実施項目				検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。	H30	R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.3他施設との複合機能化	(2)永和図書館	モノづくりのまちを支える情報提供に努める			実施項目		○	○	実施	ビジネス支援サービスを付加した図書館として、新永和図書館が開館し、ビジネス支援コーナーの設置や商用データベースの提供、ビジネス支援フェアの実施など、モノづくりのまちを支援する情報提供に努めた。	R2年度	R4年度は「商工月報」を通じた広報を実施。他にも、包括連携協定締結企業に対し、電子申請・電子図書館・出張図書館・雑誌スポンサー等の内容を記載したチラシを配布。今後は、東大阪商工会議所、東大阪労働基準監督署等と連絡会を立ち上げ定期的な情報交換や意見交換を行い、東大阪ビジネス支援事業の情報発信に取り組みよう努める。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.4.移動図書館	移動図書館に代わる新たなサービスを模索する。例えば、郵送・宅配による貸出・返却サービスの導入やルート上の施設・団体等への団体貸出などを検討				検討項目	○	○	○	検討	行財政改革プラン2020に「移動図書館の見直し」を掲載。令和6年度までに取組を推進する。令和2年9月より郵送貸出サービスを開始。令和3年11月よりリージョンセンターでの出張図書館サービスを開始。	R2年度	リージョンセンターでの出張図書館を実施すること等により、今後のサービスの在り方を検討する。	
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.5.街角図書館の普及促進	公共サービスを補完する取組を市内で盛り上げ、多くの市民が身近で本に触れ、交流する場を増やすことを目指す				実施項目		○	○	検討	街角図書館の取り組みの一つとして「家庭・地域文庫」があり、ボランティア団体「東大阪子どもと本・お話しネットワーク」に加入し活動されている。月1回会議には図書館も出席し活動状況等を情報交換している。さらに普及促進のため社会教育課や市の関係部署と共に先ずは市の施設等を活用した、図書館以外にも市民が身近に本に触れることができる場を増やすことを検討していきたい。	R3年度	家庭・地域文庫を支援するため、引き続き「東大阪子どもと本・お話しネットワーク」の会議に参加し、課題等を共有するとともにR5年度共催事業の実施に向けて検討する。また、図書館以外で市民が本に触れ合える場としてリージョンセンターでの出張図書館を実施する。	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
9	3.図書館サービス網の整備方針	3.6.中央館機能の確保	サービス網の整備と併せて、市立図書館のいずれかに中央館的機能を確保する				実施項目	○	○	○	実施	平成28年度より花園図書館が東大阪市立図書館の統括館として、対外的な窓口、各館の調整役等の中央館機能を果たしていたが、現在は永和図書館がその機能を継承している。	H28.4	引き続き取り組む。	
10, 11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(i)資料の質的な充実	漫画や新刊小説以外の資料も積極的に集め、市民にその利用を書架を通して提案する		実施項目	○	○	○	実施	各館ともジャンルや内容に偏りのないよう幅広い資料を選書収集し、様々なテーマで利用者の興味を引くような展示を行なうことで、利用の提案につなげている。	H28.4	引き続き、偏りのない選書を行ない、魅力的な展示テーマで利用の提案に努める。	
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(ii)開架スペース・書庫の拡充	2館の再整備に当たり、開架スペースや書庫スペースの確保に努める		実施項目	○	○	○	実施	花園・永和・四条図書館の収容可能冊数がはるかに超えている状況であったため、大運行政センター跡地を書庫として活用した(H29.11)。その後永和図書館(暫定)は東大阪市立図書館「書庫運用要領」(「廃棄選定基準」)に沿って資料の有効利用のため書庫を効果的に運用してきたが、その後も図書館資料収容能力と蔵書冊数を見とすでに収容能力を超える状態であった。しかし、新永和図書館の開館により資料収容能力が18万冊と大幅に増えて蔵書の充実が図られた。	H29.11	引き続き、書庫の運用や廃棄など効果的な運用に取り組む。	
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(iii)配架場所の分散化	団体貸出の利用を増やし、学校図書館やリージョンセンターへの配架、家庭・地域文庫への貸出を増やすことで市立図書館の蔵書の分散配置を進める		実施項目				実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料100冊を東大阪市立障害児者支援センターへ譲渡した。	H30.5	依頼があれば継続して実施する	
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(iv)寄贈による量的な充実	配架できない寄贈本は個人や組織等が運営する図書館・文庫等に譲り積極的に活用する。そして、寄贈本を有効活用することで、資料費を抑えつつ、市全体として資料の充実・活用の促進を図る		実施項目	○	○	○	実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料をリージョンセンターへ譲渡すべく準備した。	R2.2	依頼があれば継続して実施する	
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(v)計画的・効率的な実施	資料の増加ペースと配架、保管スペースを把握し、今後の見直しを立て、必要な資料を計画的に収集・保管する		実施項目	○	○	○	実施	寄贈本のうち、図書館に必要な図書は、図書館で受入れ利用者に提供して活用し、それ以外のものはリサイクルフェアで個人や組織に譲渡し、活用している。R3年度は、小学校対象にリサイクル譲渡会を実施(36校2,316冊)	H28.4~	引き続き、図書館での受入れやリサイクルフェアを実施する。R4年度は、一般市民対象のリサイクル譲渡会を四条図書館(雑誌1月、書籍2月)、花園図書館(雑誌・書籍1月)にて実施予定。	
11	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(1)資料収集・収蔵	(v)計画的・効率的な実施	資料の増加ペースと配架、保管スペースを把握し、今後の見直しを立て、必要な資料を計画的に収集・保管する		実施項目	○	○	○	実施	花園・永和・四条図書館の収容可能冊数と図書蔵書冊数の経年推移表を作成(H26年度～R3年度)し、資料の計画的な収集・管理に努めている。分類別蔵書数統計表やワーストリーダー等により資料の計画的な収集・管理に努めている。	H29.11	花園・永和・四条図書館の収容可能冊数と図書蔵書冊数の今後の経年推移表(R4～)の作成を検討。	
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(i)閲覧環境の改善	既存施設の活用や団体貸出の増加、街角図書館等の普及促進などにより、市内の閲覧場所・面積を広げる。また、2館の再整備により開架・閲覧スペースの十分な広さの確保に努める		実施項目	○	○	○	実施	保育園・幼稚園・サークルボランティア団体や学校連携による小学校への貸出や移動図書館巡回場所近辺の特別養護老人ホーム等図書館以外の場所等への団体貸出数も年々増加している。また、新永和図書館の整備により、暫定永和図書館と比較し、開架スペースで約2倍、閲覧スペースで約3倍の広さを確保した。	H28.4	引き続き、団体貸出等を実施し、市内の閲覧場所・面積の拡充に努める。	
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(ii)貸出・返却機会の拡充	図書館サービス網の拡充により市立図書館以外の施設等においても貸出・返却を可能とするなど、貸出・返却機会の拡充を検討		検討項目	○	○	○	実施	図書館アンケートでは館外での貸出・返却の要望も多く、ヒバリヤ書店(本店、コミックランド店)での返却サービスを実施し、大いに利用いただいている。(ヒバリヤ書店返却冊数＝H28:1,869冊,R1:6,204冊,R2:3,638冊,R3:3,697冊)。 返却ポストはR1年12月イスマヤ若江岩田店の閉店に伴い、返却ポストが少ない地域の楠根リージョンセンター入口へ移設し返却機会の拡充に取り組んでいる。 また、R3年1月には閉店となっていた三菱UFJ銀行花園支店から瓜生堂会館入口に移設した。 令和3年11月からはリージョンセンターでの出張図書館における貸出・返却を可能とした。	H28.4	これまでの取組を継続する	
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(iii)開館時間の改善	開館時間の延長について、各館の利用実感を踏まえて実施する必要がある。また、週2日のみとなっている分室の開館時間、あるいは開館曜日を増やすことを検討する必要がある		実施項目	○	○	○	実施	・開館時間を延長した(全館の開館時間を9:00にした) ・3館(花園、永和、四条)の開館時間を21:00に、2分室(大運分室、石切分)開館時間17:00にした。	H28.4	継続して実施する	
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(iv)レファレンスサービスの充実	積極的なレファレンスサービスの提供が可能な業務体制を構築する		実施項目	○	○	○	実施	・開館日数を増加した。 ・3館(花園、永和、四条)の図書整理期間を3日間短縮して開館日数を増やした。 ・3館(花園、永和、四条)の年末年始は休館せず開館日数を増やした。 令和3年4月から、大運分室は日曜日、石切分室は土曜日を新たに開館した。	H28.4	継続して実施する	
12	4.図書館サービスの整備方針	4.1.基本サービス	(2)閲覧・貸出・予約・レファレンス等	(iv)レファレンスサービスの充実	積極的なレファレンスサービスの提供が可能な業務体制を構築する		実施項目	○	○	○	実施	利用者の問題解決に努めてきた	H28.4	レファレンスに対応するカウンター職員を引き続き配置する	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考	
13	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.1.地域性を活かしたサービス	地域性を活かしたサービスにより、市民はもとより市外にも東大阪を広くPRし、注目と関心を集める			実施項目			○	○	実施	田辺聖子文学館と連携し、田辺聖子氏の書籍等特設コーナーを開設し、貸出も行った。令和2年5月に開館した新永和図書館に「慈雲尊者」「塚本邦雄」コーナーを新たに設置。	H31.2	東大阪市ゆかりの作家の展示など取り組む	
							実施項目					実施	ヴェルノール布建設予定地で発掘された宮ノ下遺跡について、宮ノ下遺跡発掘調査編集者による講演会開催。併せて東大阪市埋蔵財文化センターとの連携により宮ノ下遺跡出土土器を展示した。	H30.9	東大阪市埋蔵財文化センターや郷土博物館などと連携し郷土文化の継承に取り組んでいる。	
							実施項目	○	○	○	実施	保管期限切れ雑誌「月間陸上競技」を、東大阪市陸上競技協会へ毎月譲渡中。資料の所蔵先は花園ラグビー場。	H30.4	依頼があれば継続して実施する		
							実施項目	○			実施	H28年度は近鉄ライネーズとの連携で選手の講演会を実施、H30・H31年度はRWCを盛り上げるための展示を実施した。いずれもラグビー関連書の展示・貸出、横断幕の設置、ポスター掲示・チラシ配布を実施し、H28・H30年度は市より木製の大きなラグビーボールを貸与していただき展示した。またH30年度は花園ラグビー場で試合のある国のユニフォームを貸与していただき、展示した。	H28.12	機会があれば継続して実施する R4年度は近鉄ライネーズとの連携で元選手である普及担当者の講演会を実施		
14, 15	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(1)乳児期～幼児期：ブックスタートから始まる、図書館のおつきあい	(ii)子育て支援サービスの展開	ブックスタートや読み聞かせなど従来行ってきた乳幼児が本に親しむためのサービスに加え、子育てに関する様々な情報提供や子育て中の市民の交流の場となるサービスの提供に努める	○	○	○	実施	絵本リストを冊子にし、その内容も子どもの生活につなげるものとし取りやすくした。なお、新型コロナの影響により、令和2年3月から読み聞かせは中止し、ブックスタートパックの配布のみを行っている。ブックスタート紹介動画のURLを二次元バーコードで配布すると共に、東・西保健センターにおいて、紹介動画を放映している。	R1.4	継続して実施する こんにちは赤ちゃん事業にてブックスタート・電子図書館・出張図書館を案内するチラシを配布 R4年4月より、四条図書館にて第2水曜にベビータム及び「みんなのハッピーバースデー」を開催。同じ誕生月の子どもとその保護者が集い、意見交換や交流ができる場を作っている。			
15	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(2)学齢期：学校図書館の充実を支え、より豊かな学校教育を	学校司書の全校配置が完了するまで、学校図書館をサポートする		○	○	○	実施 (R3～)	令和3年4月から、市内小中学校（義務教育学校を含む）全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集をかけ、現在定員である19名を採用している。また、令和3年4月より学校司書連絡会への出席や研修講演等によるサポートを実施している。	R3.4	引き続き、学校図書館、学校司書に対して支援を行う。			
15, 16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(3)社会人	(i)キャリアアップ！学びたい、もう1度働きたい私にチャンス	大学の発信する情報を積極的に収集し、市民の学びに役立つ情報を提供するよう努める	○	○	○	実施	東大阪市内の4大学の図書館一覧リーフレットを作成し市民利用のための手続き方法を紹介している。また市民に役に立つ情報として東大阪市内大学の公開講座の紹介リーフレットを作成し、配布している。	H28.10	継続して実施している。 R4年度、市内4大学へ電子図書館のリーフレット・ポスターを配付。R5年度からは大学構内で出張登録会や大学・大学図書館との連携イベントを開催予定			
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(3)社会人	(ii)ビジネスに役立つ情報収集！図書館は私のビジネスパートナー	仕事に必要な資料や情報等を提供するサービスを始め。更にビジネス情報活用のための講習会を行い、総合的な支援サービスの提供に努める	○	○	○	実施	ビジネス・就労支援の専門資料は、約3,300冊所蔵している(R4.3月)。目的別に収集し貸出等を行っており、仕事に役に立つ、特に市民のニーズにあったサービスに特化するビジネス支援資料の提供を行っている。	H28.10	ビジネス情報活用のための講習会を施設環境が整っている新永和図書館で取り組んでいく。 令和4年9月初心者向け投資講座の実施。 また、関係機関から講師を招聘してビジネス支援講座の実施、官報情報検索サービスの導入も図っていく。			
16	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	大活字本の充実、点字資料やデジタリ資料の拡充を図る。デジタリ図書は、現在市内のボランティア団体で作成していただいていることから、その支援の充実を図る		○	○	○	実施	様々な資料を購入するとともに、サビ工に加入したことで、視覚に障害のある方の幅広い希望に応えることができるようになった。また、身体に障害のある方には宅配サービスの実施している。	H28.4～	ウェブサイトや、図書館だよりなどで、サビ工に加入していること及び、大活字本を始めとするバリアフリーの資料をPRしていく			
16, 17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	大活字本等の資料の存在をアピールし、市民に幅広く利用していただけるよう、図書館のコンピュータ目録に登録し、検索・予約が容易にできるようにする。それと共に、音声データ（録音図書）の作成や利用に関する案内や支援の重視を図る		○	○	○	実施	大活字本は図書館のコンピュータ目録に登録され、検索・予約は容易に可能。別途大活字本リストも作成している。また、ボランティアの協力により録音図書の作成を行っている。録音図書もコンピュータ目録に登録しているが、一般の利用者が予約される可能性があるため、ウェブサイトには公開していない。	H28.4～	録音図書の利用に関する案内を作成し、館内に設置するとともに障害者支援団体にも配布する。また、録音図書を聞く機器を館内で利用できるよう、案内を設置する。 R4.10月より当年度作成録音図書一覧を作成して図書館ウェブサイトにて公開。また、11月には、市政だよりを活用したり、障害者団体へのチラシを配付したりといったことで録音図書の周知に努めた。			
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	図書館への来館が難しい障害者や高齢者のために、施設への団体貸出や出張貸出・朗読、宅配等のサービスを検討する	検討項目					実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料100冊を東大阪市立障害児者支援センターへ譲渡した。	H30.5	依頼があれば継続して実施する		
						検討項目	○	○	○	実施	障害者向け宅配サービスを開始した	H30.4	継続して実施する			
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	市民が、より多くの本を利用できるように、身近なリジョンセンターでも市立図書館の本が利用できるように努める		○		○	実施	社会教育課を通して依頼のあったリサイクル資料をリジョンセンターへ譲渡すべく準備した。また、令和3年11月より楠根・布施駅前市民プラザで出張図書館を実施。	R2.2	依頼があれば継続して実施する。			
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	高齢介護サービスなど高齢者向け公共サービス情報（パンフレットなど）や関連資料・情報を一通り揃えておく必要がある		○	○	○	実施	関係機関から図書館にいただいたパンフレットを設置している。	H28.4～	今後は、さらに積極的に収集し、設置する			
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4)高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	高齢者向けの健康づくりや食生活に関する本や雑誌・新聞記事を提供する。新聞の家庭欄などには関連する記事が多いうえ、短くまとまっており、写真や図形も多く、分かりやすいため、テーマ別の切り抜きやファイルの提供や講座での配布資料の収集・提供にも努める		○	○	○	実施	東大阪市内発行の情報誌や大阪府内から届けられる資料など、図書館内に設置している雑誌スタンドやブックスタンドに置いて自由に持ち帰りができる。	H28.4	継続的に資料収集し、情報提供する。			

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4) 高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	市の進める「協働のまちづくり」の担い手として期待される様々な地域の団体や、シルバー人材センターや老人クラブなど高齢者の参加を待っている団体の情報や、高齢者の関心が高いイベントの情報などを収集し提供に努める		実施項目	○	○		実施	東大阪障害福祉キャンペーン実行委員会主催「ふれあいのつどい」にはじめて図書館から参加し、点字体験のブースに出展した。イベントを通じて障害者やご家族と意見交換をおこない、併せて図書館の障害者サービス支援の取り組みなどを説明した。令和3年度はイベント自体が中止。	R1.11	社会教育課および地域活動支援室と連携し、東大阪市民プラザなどでアンケートなど実施し、それを通じて情報収集をおこない、適宜図書館からも情報発信していく。「ふれあいのつどい」R4年度はイベント自体が中止	
17	4.図書館サービスの整備方針	4.2.特色あるサービス	4.2.2.特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス	(4) 高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	まちづくりなど、高齢者等が自らの知識や技能、経験を活かして参画し協働することができるような図書館ボランティアの養成について検討する		検討項目	○	○	○	実施	東大阪朗読ボランティア「やまびこ」は録音図書制作や対面朗読などのボランティアを図書館を拠点として活動しており、またやまびこ自身でボランティアを募集され養成されている。必要の都度図書館は連携・支援している。	H28.4	図書館の本の配架や修理など図書館サービスにおけるボランティアを募集・養成し、図書館ボランティアとして参画し協働できる仕組みを検討していきたい。	
17, 18	4.図書館サービスの整備方針	4.3.情報発信・PR等の強化	フェイスブックなど様々な媒体を活用した情報発信・PRを強化する必要がある。少なくとも、図書館ホームページにおいて、今後取り組むサービスの概要や各サービスの詳細等を示していくと共に、パンフレット・ポスター等の公共施設等への配置、広報への定期的な情報発信等、積極的なPRに努める。				実施項目	○	○	○	実施	・図書館ウェブサイトFaceBookのサービス開始した。(R1.10) ・図書館から「新着お知らせサービス」を開始し、新着本やイベント情報などを定期的に発信している。(H30.4)	H30.4	継続して実施する	
							実施項目	○	○	○	実施	・H28.9月ボランティアイベント「えほんはともだち」で利用者登録の受付を実施した。 ・H29.11月に社会福祉施設若草園主催の近隣住民とのイベントに参加し2名の新規登録があった。 ・H29.12月に「ハローワーク」主催の「モノづくり女子応援セミナー」に共催で参加し3名の新規登録があった。 ・H30年度よりドリーム21で「こちら花園」図書館出張所を開催し、H30年度4件、R1年度5件の新規登録があった（R2は新型コロナウイルスの影響により実施していない）。 R3.9月市役所1Fロビーにて電子図書館体験会 & 出張登録会を実施。シェアオフィスリゾヴェルノールにてポスター(小)を掲示。	H28.9	継続して実施する R4.11月 HANAZONO EXPOにて電子図書館体験を中心とした出張図書館を開催。包括連携協定締結企業に対し、電子申請・電子図書館、出張図書館・雑誌スポンサー等の内容を記載したチラシを配布。	
							実施項目	○		○	実施	H30年9月よりブックスタート会場出張登録会を開催し、H30年度44件、R1年度43件の新規登録があった。 (R2は新型コロナウイルスの影響により実施していない) R3年度は東大阪市役所1階ロビーで出張登録会を開催し、46件の新規登録があった。	H30.9	継続して実施する R4.5月より東大阪電子申請システムより新規の利用登録申請を開始。 R4年度はHANAZONO EXPOにて出張図書館を開催し、13件の新規登録があった。 R4年度、出張図書館へのタブレット持参を開始。	
							実施項目	○			実施	令和元年度、夏休み前に小学校へ配布した図書館案内用紙での新規登録が49件あった。	R1.7	効果的な配布方法について学校教育推進室と協議・調整する。	
21, 22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(1)各種プログラムの実施	(i)レクリエーション	絵画・工作・歌・手遊び・体操等を親子で楽しみ、学ぶプログラムを定期的に開催する		実施項目	○	○	○	実施	「おはなしのとびら0.1.2.」を開催。0.1.2歳の子どもと保護者対象。読み聞かせ・手遊びなど。「ほっこりライブラリ」を開催。4ヶ月～就学までの子どもと保護者対象。ペピーマッサージ・ふれあい遊び・手作り・読み聞かせ・わらべ歌等	H30.4	継続して実施する	
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(1)各種プログラムの実施	(ii)乳幼児向けお話し会	絵本等の読み聞かせについて、子育て支援サービスに注力する館では、年齢層別に、かつ高頻度での開催を目指す		実施項目	○	○	○	実施	R1年4月から0.1.2歳対象としたお話し会「おはなしのとびら0.1.2.」を開催。絵本の読み聞かせ、わらべ歌など	R1.4	継続して実施する	
							実施項目	○	○	○	実施	H30年4月から4ヶ月以上の乳幼児を対象に「ほっこりライブラリ」を開催。ペピーマッサージ、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを行う。 R3年10月より第4水曜「ペピータイム」に変更。館内で子どもが少々声を出しても構わない時間としたほか、ボランティアとともに、手遊びや絵本の読み聞かせを実施。	H30.4	継続して実施する R4年4月より、四条図書館にて第2水曜にペピータイム及び「みんなでハッピーバースデー」を開催。同じ誕生月の子どもとその保護者が集い、意見交換や交流ができる場を作っている。	
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(2)専用スペースの設置	子ども向けの専用スペースの設置			実施項目	○			検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。	H30	R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
22	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(3)子育ての助けになる資料・情報等の収集・集約	育児に関する専門図書・資料と市内の子育て情報(地域のミニコミ誌等のフリーペーパーや子育てサークル・団体等のチラシ類、更に子育て卒業生からの寄贈資料など)を中心に収集を強化する			実施項目	○	○	○	実施	平成30年4月から育児・子育てに関する資料や子育てサークル・団体等のチラシ類、乳幼児のCDを集約していた資料を子育て支援コーナーにまとめた。	H30.4	継続して実施する	
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(4)情報収集等の支援	(i)レファレンス	利用者が望む資料・情報について、対面で相談・支援する		実施項目	○	○	○	実施	カウンターで対面の相談・支援を行う。その他、関係機関からの子育て支援に関するチラシなどを常設。	R1.9	継続して実施する	
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(4)情報収集等の支援	(ii)保護者向け講習会	資料・情報等の活用法の講習会(「絵本の楽しみ方」「胎教によい音楽」「食育」「ほめ方・叱り方」など)を実施		実施項目	○	○		実施	「ほっこりライブラリ」(R3以降ペピータイム)のときに利用者の方と話をして対応。乳幼児向け行事開催時、参加者との会話の中で子育てに必要な情報を提供。子育て支援コーナーを設ける。	H30.9	継続して実施する	
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(5)専門機関と連携したサービス	(i)専門職・機関等への相談取り次ぎ	子育てについて専門的な相談を必要とする利用者に、関係機関(子育て支援センターや保健センター、家庭児童相談室等)の専門家への取り次ぎを行い、すみやかに相談が受けられるよう支援する		実施項目	○			実施	子育て支援センターあさひ主催の「今日は絵本とおはなしひろば」に参加した(R2は新型コロナウイルスの影響により実施していない)。R2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により中止。	H28.4	継続して実施する	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
23	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(5)専門機関と連携したサービス	(ii)出張相談会・イベント等	専門機関が平日に実施している相談会やイベントを、図書館内にて定期的(特に土日等の休日)に出張して開催してもらうことで、平日に専門機関に行くのが難しい保護者を支援する		実施項目	○	○	○	実施	関係機関へのイベント参加「ツイズクラブ」「あさひっこ」各関係機関からのパンフレット・イベントチラシなどを集め、子育て支援コーナーに常設。	H29.5	継続して実施する	
23, 24	1.子育て支援サービス	1.1.必要機能(提供サービス)	(6)休日サービスの柔軟な導入	講座・レクリエーション等の休日開催に努める			実施項目	○	○	○	実施	令和2年度までは「お楽しみ会」を第3土曜日に年間5回程度実施。内容は紙芝居・手作り等。そのほか「おはなしの部屋」毎月第4土曜日「ほんをよもう」毎月第1日曜日「キュ～たんおはなし会」毎月第1土曜日「お話大好きおむすびころりん」毎月第4日曜日のように土曜日・日曜日の休日に行っている。 令和3年度からは、「お楽しみ会」に代えて、ロボットを使ったプログラミングワークショップやものづくりワークショップなど、特別行事を土日に開催(年3～4回)。また、「本をよもう」を休止し、毎月第3水曜、大人工作・子ども工作・折り紙教室を月替わりで行う、四条ワークショップを実施している。	H28.5	継続して実施する	
24	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(1)乳幼児・親や保育者向けの設備・対応等	図書館が安全でバリアフリーな場所となるための設備・対応(段差の解消・給湯室・授乳室等)が必要			実施項目				検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。		R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
24	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(2)施設	(i)専用スペース	乳幼児の声が他の利用者の迷惑とならないよう、児童エリア内に関仕切りをして設置。靴を脱いで利用、カーペット敷き、入口にはベビーカー置き場と靴箱を配置など		実施項目				検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。		R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
24	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(2)施設	(ii)研修室	20席程度のテーブル席と、壁面にホワイトボードやスクリーン等が設置された部屋が必要		検討項目				検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。		R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
24	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(2)施設	(iii)相談室	専門家・専門機関等と連携した出張相談や、専門家へ取り次いだ個別相談のための部屋が必要		検討項目				検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。		R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
25	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(3)子育ての助けになる資料・情報等の配架スペース	関係機関や団体等のパンフレット・チラシ・フリーペーパー類を収集・配架する			実施項目	○	○	○	実施	関係機関や団体等のパンフレット・チラシ・フリーペーパー類を収集して子育て支援コーナーに配置。	H29.4	継続して実施する	
25	1.子育て支援サービス	1.2.施設等構成	(4)担当要員の配置・確保	通常の司書としての知識やスキルに加え、子育て支援に関する十分な知識を有する職員の配置やスキルのある市民の支援を受けることで、質・量共に充実したサービスの円滑な実施を図る			実施項目	○	○	○	実施	「大阪府子ども読書活動推進について」の研修参加。他市の子育て支援の研修への参加。行事参加ボランティアなどに講習会を行う。 令和3年度は大阪公共図書館協会児童サービス基本研修、大阪府子ども読書活動推進ネットワークフォーラム、大阪府図書館司書セミナーや社内児童研修に参加。	H30.4	継続して実施する 大阪子ども文庫連絡会の児童文化講座(7回)に参加。	
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(1)必要なスペースの確保	新築もしくはリニューアルする2館において、子育て支援サービスを実施する場合は、資料の配架と閲覧に必要な十分なスペースの確保を最優先した設計とする必要がある			検討項目				検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。		R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(2)専用コーナーへの資料の集約	3館2分室の開架及び書庫に散在する関係資料から、今回専用コーナーに集約する資料の選別、古く陳腐化した資料の除籍及び処分、新たに収集する資料の選定、それら資料の配置など、資料収集・集約・配架のために多くの準備作業が必要			検討項目	○		○	実施	除籍資料の整理と選書基準に基づき、子育て関係の収集、CDの収集の継続。各館から資料を移管した。	R1.8	継続して実施する	
25	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(3)3館2分室との役割分担の整理	新たに子育て支援サービスの中心となる館に、資料等やプログラムをどの程度集約し、他の施設のサービスはどの程度継続するのか、運営体制の観点からも検討・整理が必要			検討項目				検討	(仮称)こどもセンターと図書館との複合施設整備計画の中で、具体的な検討を進めていく。		継続的に検討する。	
25, 26	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(4)関係機関との連携	サービス開始前から定期的に情報交換や意見交換を行う、年間での出張相談や出張イベントの計画を共同で作成するなど、双方の担当職員が継続的に行う必要がある			検討項目				検討	保健センターの「ツイズクラブ」や旭町子育て支援センター(あさひっこ)主催の行事へ参加し、関係機関との連携に取り組んでいる。定期的な情報交換や意見交換を通じて出張イベントを共同企画なども検討していきたい。		(仮称)こどもセンターと図書館との複合施設整備計画の中で、具体的な検討を進めていきたい。	
26	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(5)利用拡大(立地・PR)	(i)館の立地	子連れで気軽に立ち寄れるよう立地条件を整える		検討項目				検討	四条図書館を含む文化複合施設整備計画は、R2年10月に事業の一旦凍結が決定。		R4年12月、東部地域仮設庁舎敷地に(仮称)こどもセンターと図書館を複合施設として再整備することが決定された。今後は、施設整備計画の中で具体的な検討を進めていく。	
26	1.子育て支援サービス	1.3.実現に向けた課題	(5)利用拡大(立地・PR)	(ii)広報・PR	市のホームページや広報等の様々な媒体を通じ、サービス内容の周知を繰り返す必要がある		検討項目	○	○	○	実施	「まなびにトライ」・民間の広報媒体などへ掲載し、いろいろな媒体を通じてイベントや展示、サービスなどを周知している。	H30.7	継続して実施する R4年度は都市魅力産業スポーツ部PR冊子「Hi」で電子図書館等の周知を実施	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
27	2.学校連携	2.1.必要機能 (提供サービス)	(1) 学校図書館での館外資料の利用	(i) 図書館同士の連携	他校の資料、市立図書館の資料、市立図書館を介した市外（国会、府立、他市）の図書館の資料を、学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供する		実施項目	○	○	○	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.12月に英田南小学校より4年生社会科授業で使う本（大和川・消防署・警察署・防災・地震・火事・交通事故・交通安全・安全な学校生活を考える本）の依頼があり、47冊団体貸出。 ・H30.2月に花園小学校より教科書の「よんでみよう」で紹介されている本の依頼があり、16冊を学校支援資料と一括で貸出。 ・H30.5月に玉川小学校より1年～6年生までを対象とした戦争平和学習に使用する本を100冊依頼があり貸出。 ・H30.11月に英田南小学校より国語の授業用『ビーバーのダム』関連書と2年生向け動物の本を各複数冊依頼があり、47冊貸出。 ・H31.4月に玉串小学校より学校支援の300冊限度では児童数360名に不足しているため、動物の本を学校支援と一緒に依頼があり、100冊を学校支援と一緒に団体貸出。 ・R1.5月に玉美小学校子育てネットワーク委員会より絵本・児童書の依頼があり、88冊貸出。 ・R1.6月に玉川小学校より戦争の本を学校支援と一緒に依頼があり、86冊を学校支援と一緒に貸出。 ・R1.12月に英田北小学校より教科書に載っている児童書を4年生4クラス分用意の依頼があり、可能なものは4冊、不足分は可能な限り用意して295冊貸出。 ・R1.12月に英田北小学校より4年生4クラスの図書館の本を使った調べ学習「ちがいにについて」発表の展示依頼があり、展示コーナーで1クラス1週間ずつ4週間展示。 ・R3.1月に西堤小学校より「どうぶつのおやこ」の本を100冊借りたいとの申し出があり100冊貸出。 	H29.12	学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで市立図書館の蔵書及び電子図書館を活用してもらうなど、読書環境の充実に努める。 R4年4月、児童書の読み放題コンテンツを導入 今後は、児童生徒向けのコンテンツの充実、学校での使い方講座実施、電子図書館利活用方法を教職員と検討、調べる学習コンクール実施等、学校連携を図る	
27	2.学校連携	2.1.必要機能 (提供サービス)	(1) 学校図書館での館外資料の利用	(ii) 学校図書館の蔵書の充実	団体貸出の仕組みを活用し、市立図書館の多数の資料を一定期間（月単位）貸し出し、定期的に入れ替えることで、学校図書館の蔵書を充実させる		実施項目	○	○	○	実施	<p>花園中学校区（花園小・花園北小・玉串小）において内容を拡充した団体貸出を実施。通常では100冊2か月のところ、300冊まで2か月で、選書についても多忙な先生方の時間を奪わないように考慮し、選択の必要がない300冊セット・240冊セットのバックを用意するとともに、授業に関連する本のリクエストにも応える。事前に申し込んでいただく、貸出・返却は図書館が学校まで出向くもの。 令和3年度からは、モデル校対応でなく、学校司書等を通じてリクエストに応えるなど、各校に適した団体貸出を市内全域で実施している。</p>	H30.2	継続して実施する	
27	2.学校連携	2.1.必要機能 (提供サービス)	(2) 学校図書館の開館時間の拡大	学校図書館の開館時間を拡大できるよう支援する			実施項目				実施	令和3年度から配置された学校司書の取組に協力することで、学校図書館の開館時間の拡大など学校図書館の充実に繋がるよう支援する。	R3.4	継続して実施する	
							実施項目			○	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.3月に花園小学校1・2年生対象で出張おはなし会(絵本紹介・大型絵本・大型紙芝居・エプロンシアター・図書館利用案内)実施。 ・H31.3月に意岐部小学校3・4・5年生対象で出張おはなし会(ブックトーク・大型絵本・エプロンシアター・図書館利用案内)実施。 	H29.3	継続して実施する	
							実施項目			○	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.1月に布施北高校2年生対象で出張読み聞かせ講習・図書館利用案内を実施。 ・H29.3月に花園小学校3・4年生対象で出張ブックトーク指導・利用案内を実施。 ・H29.10月に花園小学校図書委員対象で出張整備講習会(本の修理・ブック貼り指導)実施。 ・H31.1月に花園小学校図書委員対象で出張面展作成教室(面展台・ポップ制作の指導)実施。 ・H31.2月に玉串小学校図書委員対象で出張面展作成教室(面展台・ポップ制作の指導)を実施。 ・R3年7月に西堤小学校5年生、R4年1月に加納小3年生、R4年2月に加納小4年生を対象に「調べる学習」の事前授業を実施。 ・R3年7月に藤戸小3年生の「あらすじカード」を永和図書館内で展示。 ・R3年11月に西堤小3年生の「ゆうすけ村の小さな旅館」のしかけマップを、西堤小4年生・5年生・6年生が作成した「調べ学習作品」のうち、優秀作品をレプリカにして永和図書館内で展示。 ・R3年10月とR4年2月に大連小4年生と1年生対象でブックトークを実施。 	H29.3	継続して実施する	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
27	2.学校連携	2.1.必要機能 (提供サービス)	(3)本と利用者をつ なく人によるサービス	教職員や児童・生徒の 本の選択を支援し、ブック トークや読み聞かせ、 ストーリーテリングのような 本に親しむプログラムを 行うなど、人によるサービ スの充実を支援する			実施項目	○	○	○	実施	・館内案内・利用案内・質疑応答・利用登録・貸出を実施。 ・H28年度は花園北中・加納小・玉川小・花園小・意岐部小・八戸の里小・英田北小・英田南小・若江小の9校。 ・H29年度は花園小・英田南小・玉川小・花園北小・意岐部小・英田北小の6校。 ・H30年度は花園北小・花園小・英田北小・玉川小・英田南小・意岐部小の6校。 ・R1年度は花園北小・枚岡東小・玉川小・英田南小・花園小・縄手北小・孔舎衛東小・意岐部小の8校で実施。 ・R1年度見学実施の意岐部小より見学の感想をまとめた壁新聞を図書館で展示してほしいとの依頼があり、児童コーナーで展示した。 ・R2年度は枚岡西小・玉川小の2校で実施。 ・R3年度は朝鮮初級学校・柏田小・英田南小・大連小・長瀬南小の5校で実施。	H28.5	継続して実施する	
							実施項目	○	○	○	実施	・館内案内・書架整理・カウンター業務・予約確保業務・本の装備・ミニブリアパトルなどを 実施。 ・H28年度は花園中・石切中・唐津中・玉川中・池島中・若江中・長瀬中・枚岡中・孔舎衛中・英田中の10校。 ・H29年度は孔舎衛中・英田中・石切中・玉川中・唐津中・枚岡中・若江中・花園中・池島中・縄手中・小阪中の11校。 ・H30年度は英田中・意岐部中・玉川中・唐津東中・石切中・唐津中・枚岡中・花園中・石切中・枚岡中・若江中・縄手中の12校。 ・R1年度は孔舎衛中・英田中・玉川中・花園中・石切中・枚岡中・小阪中・唐津中・八尾市高安中・若江中の10校で実施。 ・R2年度は玉川中・柏田中の2校で実施。 ・R3年度は上小阪中・柏田中・新喜多中・玉川中の4校で実施。	H28.10月	継続して実施する	
							実施項目	○	○	○	実施	・館内案内・書架整理・カウンター業務・予約確保業務・本の装備・おはなし会などを 実施。 ・H28年度より布施北高校インターンシップ・デュアル研修を実施。 ・H28・H29年度は小学校教員10年目研修を実施。 ・H30年度は東大阪大学インターンシップ、および大阪大谷大学、関西大学、大阪大谷大学の司書課程図書館実習を実施。 ・R2年度は布施北高校職場見学・デュアル研修、大阪芸術大学図書館実習を実施。 ・R3年度は大阪樟蔭女子大インターンシップ、布施北高校デュアル研修を実施。	H28.7	継続して実施する	
							実施項目	○	○		実施	・H28年5月に永和図書館に見学に来られた学校と意見交換を実施。 ・H28年6月に四条図書館オープン挨拶に周辺の小中学校を訪問し、意見交換を実施。 ・H28年12月に花園図書館周辺の英田校区、花園校区の小中学校と意見交換を実施。 ・H29年2月に花園小を訪問、H30年に花園北小を訪問。 ・R3新喜多中・西堤小・藤戸小を訪問。	H28.5	継続して実施する	
							実施項目	○	○	○	実施	・R3出前講座として「調べる学習」を西堤小・加納小にて実施。 ・R3藤戸小において、あらすじカードを作成し、永和図書館マルチホールで展示。 ・R3樟蔭中で実施の「花育プロジェクト」の一環として、大連分室に中学生の育てた花を飾る。 ・R3大連小において、ブックトークを実施。		依頼があれば、継続して実施する。	
27.28	2.学校連携	2.1.必要機能 (提供サービス)	(4)読書手帳サービス	児童・生徒に「読書手帳」を発行する。この手帳に、借りた本の書名等を銀行の預金通帳のように機械等で記載するサービスを提供し、児童・生徒の本の利用促進に努める			実施項目	○	○	○	実施	・H28年5月より自書式で30冊記載可能な読書手帳を児童用と幼児用の2種類の配布を開始し、達成者にはスタンプを押し印した。 ・夏休みには小学生対象で10冊記載できる簡易版を配採用し、達成者にはきらきらシールを配布した。 ・H30年1月より行事の講師をお願いした絵本作家の谷口智則さんが描いた表紙絵の1種類に統一し、大人の利用者にも好評である。 R4年3月より山崎なみこさんが描いた表紙絵のものを追加し、両方の名称を読書手帳に変更。	H28.4	継続して実施する。	
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(1) 図書館システムとの連携	(i)学校図書館システムへの支援	学校図書館システムの構築にあたっては、図書館システムとの連携を視野に入れて支援を行う		実施項目				未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで引き続き学校司書を通じて、学校図書館への支援を行い、読書環境の充実に努める。	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めています。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(1) 図書館システムとの連携	(ii) 学校図書館の蔵書へのバーコード貼付	学校図書館システムで貸出・返却処理ができるよう、蔵書へのバーコードの貼付が必要		検討項目				未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで引き続き学校司書を通じて、学校図書館への支援を行い、読書環境の充実に努める。	
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(1) 図書館システムとの連携	(iii) 図書館システムとの連携に必要な設備等の整備	学校図書館システムで市立図書館等の蔵書の貸出・返却処理ができるよう、図書館システムとの連携に必要な端末類の設置やネットワーク整備等が必要		検討項目				未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで引き続き学校司書を通じて、学校図書館への支援を行い、読書環境の充実に努める。	
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(2) 学校図書館への学校司書の配置	学校司書の配置を支援する			実施項目			○	実施 (R3～)	令和3年4月から、市内小中学校（義務教育学校を含む）全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集をかけ、現在定員である19名を採用している。	R3.5	継続して実施する	
28	2.学校連携	2.2.必要な設備	(3) 手帳の発行、記帳機の学校図書館への配置	「読書手帳」（冊子）を児童・生徒数分だけ準備すると共に、児童・生徒が手帳を挿入し借りた本の書名等を記帳する機器等を学校図書館に配置する必要がある			検討項目				未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。		令和3年度から配置された学校司書と連携し、取組を検討する。	
29	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(1) 学校図書館システムへの蔵書登録等	学校図書館の蔵書の登録には、データの補正やバーコードの貼付等の膨大な作業が必要となる			検討項目				未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで引き続き学校司書を通じて、学校図書館への支援を行い、読書環境の充実に努める。	
29	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(2) 学校図書館システムへの蔵書登録の導入	多額の予算が必要となるため、準備作業が終わった学校から段階的に導入することで導入費用の平準化を図ることも考えられる			検討項目				未実施	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。R3年度は、年4回の学校司書連絡会へ参加し、学校司書に対して選書や配架等の助言や情報提供を行い、学校図書館に対して支援を進めている。また図書館側が講師となり、学校司書に対して本の修理講座を実施した。		学校図書館にて一元的に検索・予約し、貸出・返却できるサービスを提供することは難しいため、今後は学校司書と連携し、各校のニーズを把握したうえで引き続き学校司書を通じて、学校図書館への支援を行い、読書環境の充実に努める。	
29	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(3) 学校司書の配置	一斉に配置するのではなく、まず半数の学校から段階的に配置することや、1名の学校司書が2校を受け持つ方法でスタートすることが考えられる			検討項目			○	実施 (R3～)	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。R3年度は、7月に行われた第1回の学校司書連絡会において、永和図書館長が学校連携に関する講演を行った。	R3.5	令和3年4月から、市内小中学校（義務教育学校を含む）全76校に週1日ずつ学校司書を配置できるよう募集をかけ、現在定員である19名を採用している。	
29	2.学校連携	2.3.実現に向けた課題	(4) 学校司書の研修	新たに雇用される学校司書にとって、情報を交換し、学びあうことができる場が必要			検討項目			○	実施 (R3～)	R2年6月に西堤小学校、7月に藤戸小学校、新喜多中学校に伺い、学校図書館の現状と図書館への要望について聞き取りを行った。連携に向けては学校図書室の資料整理と市立図書館からの応援可能な業務の検討が必要となる。R3年12月の第3回、R4年3月の第4回の学校司書連絡会において、学校司書より要望が多かった「図書館での分類、整理の基礎」、「資料の修理」等について図書館が講師となって研修を行った。	R3.7	令和3年7月と8月に開催された学校司書連絡会に参加し、講義や意見交換等を行った。引き続き、学校図書館、学校司書に対して支援を行う。	
30	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(1) 専用コーナーの設置	仕事に役立つ大抵の資料が揃っているような専用コーナーの設置に努める			実施項目	○	○	○	実施	ビジネス支援資料の所蔵はH28.10から継続して購入し約3,300冊(R4.3月)となり、仕事に役立つ資料の配架は充実してきている。閲覧室、パソコン席、サービスカウンターなど閲覧環境も整った(R2.5)。	R2.5	資料の購入を継続する。	
30, 31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(2) 充実した閲覧環境	パソコンの持ち込みにも対応し、電源コンセントを備えた、さまざまな資料を広く使いやすいテーブルを必要数配置すると共に、インターネット検索による調べものも可能なよう、インターネットに接続できるLAN環境も備えた閲覧コーナーを設ける			実施項目	○	○	○	実施	持ち込みパソコンの利用が可能となるよう各テーブルに電源コンセントを設置した。また、ビジネス支援用のパソコンの設置により商用データベースを利用できるようにし、有料で印刷もできる環境を整えた。	R2.5	継続して閲覧環境の整備に努める。	
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(3) 仕事に役立つ資料の収集・集約	専用コーナーでは、仕事に役立つ情報・資料の収集を強化すると共に、3館2分室に散在する既存の関係資料等を集約する。資料・情報は、地域のフリーペーパーも含め幅広く収集する。加えて、このようなジャンルの資料・情報は陳腐化するも早いことから、専用コーナーに置く資料の更新・入替え等には十分注意する			実施項目	○	○	○	実施	ビジネス支援資料の所蔵数：約3,300冊(R4.3月) 仕事に役にたつ、市民のニーズに合った資料を中心に収集。 モノづくり関係業界新聞、東大阪市を中心に関西に本社のある企業へ社史等寄贈を依頼した。 業界新聞（15社）、社史等(55社)を所蔵	H28.10	継続して収集に取り組む	
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(4) 利用の支援	(i) 情報収集支援ツールの提供	ビジネス情報リストや記事索引、レファレンスの事例、バスファインダー等を整備し、提供する		実施項目	○	○	○	実施	商用データベースの使いかた、ビジネス支援相談案内などを作成し配布している。 商用データベースの利用案内を作成し、ビジネスコーナーに掲示している。	R2.5	継続して情報収集支援ツールの提供に取り組む。	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目/検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
31	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(4)利用の支援	(ii)専門職員によるレファレンス	専用コーナー担当の職員を配置し対応する		実施項目	○	○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(4)利用の支援	(iii)使い方講習会	専門資料でデータベースの基本的な使い方や、便利なツール・活用方法等について、専用コーナー担当の専門職員による講習会を定期的に開催する。また、インターネットで調査する人のために、インターネットやデータベースの簡単な効果的な使い方や、インターネット上で信頼性の高い情報の見分け等、利用者が便利に感じるハウツーについて講習する		実施項目		○	○	実施	使い方講習会の開催を計画していたが、新型コロナウイルス拡大防止対策面から延期し、インターネットやデータベースの使い方を紙ベースで作成し配布している。	R 2.5	インターネットやデータベースの使い方など机上ベースから実践的な講習会を開催する。 R4.9月、初心者向け投資講座を実施	
32	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(4)利用の支援	(iv)連携する専門家・機関等への取り次ぎ	利用者が専門家への相談を必要とする際には、関係機関への取り次ぎを行い、すみやかに相談が受けられるよう支援する		実施項目	○	○	○	実施	求人情報・就職活動などの情報提供をハローワーク布施と連携し、就労支援イベントの共同開催や就労関係及びビジネス関連のポスターやチラシ掲示等を双方施設内に常設する取組みを実施。 ビジネス支援も含めたレファレンスコーナーの開設。	H28.11	商用データベースのサービス提供。 商工会議所、市経済部モノづくり支援室など関係機関との連携。 ビジネス支援担当者の育成による利用者サービス向上の取組み。	
32	3.ビジネス支援サービス	3.1.必要機能(提供サービス)	(5)夜間開館の柔軟な導入		ビジネス支援サービスについて、平日夜間の開館について曜日・時間帯を検討し、仕事帰りに立ち寄りやすい方にとって最適な開館時間を設定する		実施項目	○	○	○	実施	ビジネス支援も含めたレファレンスコーナーの開設。	R 2.5	引き続き、実施。	
32, 33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(1)仕事に役立つ資料の配架スペース		ビジネス書や専門書等の図書のほか、DVD等の映像資料(配置するPCもしくは持ちこみPCで閲覧)、市内の産業・雇用関係機関や事業所等のカタログ・パンフレット・フリーペーパー類を収集・配架する。新聞は「日刊工業新聞」「日経産業新聞」等、雑誌は「日経ものづくり」等を配架する		実施項目	○	○	○	実施	ビジネス支援コーナーを設置し、就労・資格、ビジネス書、専門書及び雇用関係、ビジネス関係のパンフレット等を配架。(暫定永和)	H28.10	引き続き、専門書等の配架に努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(i)閲覧室兼講習室	パソコンの持ち込みにも対応し、電源コンセントを備えた、さまざまな資料を広げやすいテーブルを配置し、インターネットに接続できる無線LAN環境を提供する。壁にはホワイトボードやスクリーンを備え、講習会の会場としても使えるようにする		実施項目	○	○	○	実施	ビジネスマン向けに持込パソコンでIT環境支援のため無線LANサービスを提供。	H28.10	ビジネス支援専用のパソコン席、情報収集支援ツールの提供など充実した閲覧環境の提供。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(ii)パソコン席	インターネット検索による調べものも可能なよう、インターネットに接続できる、DVD資料が閲覧できるパソコンを設置した席を設ける。また、有料で印刷やコピーができる複合機を設ける		実施項目	○	○	○	実施	パソコンを設置し、商用データベースを導入して有料で印刷できる環境を整えた。	R 2.5	継続して閲覧環境の整備に努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(iii)サービスカウンター	職員が資料の貸出・返却、各種応対等を行うカウンターを設ける		実施項目	○	○	○	実施	ビジネス支援も含めたレファレンスコーナーを設置し、兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(2)閲覧環境	(iv)資料探し相談コーナー	サービスカウンターに隣接し、資料の探し方等の相談にのり、お手伝いをするレファレンスサービスのためのスペースを設ける。館内外の資料等の検索端末を設置する他、各種バスファインダー等も置く		実施項目	○	○	○	実施	ビジネス支援も含めたレファレンスコーナーを設置し、兼任によるビジネス支援担当を配置している。 レファレンスコーナーにはパソコンを設置し、商用データベースを導入して有料で印刷できる環境を整えた。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置する。 継続して閲覧環境の整備に努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.2.施設等構成	(3)専用コーナー担当の司書職員の配置		資料の選定・収集・入替や、レファレンス、講習会の実施、専門の関係機関との連携等、専用コーナーを運営する職員が必要となる。このため、通常の司書としての知識やスキルに加え、ビジネス支援に関する十分な知識を有する職員の配置に努める		実施項目	○	○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置している。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッフを配置し、さらにスキルアップに努める。	
33	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(1)専用コーナーへの資料の集約		3館2分室の開架および書庫等に散在する関係資料から専用コーナーに集約する資料を選別する。その際、古く陳腐化した資料等の除籍及び処分も行う。新たに収集する資料の選定、それら資料の配置など、多くの準備作業が必要となる		検討項目	○	○	○	実施	永和図書館はビジネス支援サービス担当館として、仕事に役に立つ、市民に役に立つビジネス支援資料の提供を目指して、ビジネス・資格・業界・就労・パソコン・モノづくり・東大阪・機械加工・中小企業・社史に分類し収集を始めた。ビジネス・就労支援の専門資料など所蔵冊数は約3,300冊所蔵している(R4.3月)。	H28.10	継続して資料収集に取り組む。	
33, 34	3.ビジネス支援サービス	3.3.実現に向けた課題	(2)必要なスペースの確保		市立図書館はいずれの館・室も手狭で、十分な広さの確保が長年の重要課題となっている。今回3館のうち1館が新築、1館がリニューアルの予定となっていることから、この2館にて本サービスを実施する場合は、資料の配架及び閲覧に適切なスペースの確保を最優先して設計を行う必要がある		検討項目	○	○	○	実施	新永和図書館となり、永和図書館(暫定)の約2倍の延べ床面積(暫定永和:697㎡、新永和:1300㎡)となり、暫定永和の蔵書冊数:135,000冊(R1.2)に対して新永和蔵書スペースは開架:85,000冊、閉架:105,000冊があり、55,000冊の余裕ができた。	R2.2	新永和図書館の広いスペースを有効に活用し、継続してビジネス・就労支援の専門資料などの資料収集に取り組む。	

※子育て支援に関する施策については、複合施設の整備計画の中で具体的な検討を進めていきます。

掲載頁	施策①	施策②	施策③	施策④	施策⑤	施策⑥	実施項目 /検討項目	R元年度 実施/検討	R2年度 実施/検討	R3年度 実施/検討	実施又は検討/ 未実施又は未検討	主な実施/検討状況	開始時期	R4年度～実施または予定している内容	備考
34	3.ビジネス支援 サービス	3.3.実現に向けた 課題	(3) 利用拡大 (立 地・PR)	(i)館の立地	・交通機関の要所に近 い所に立地する必要が ある ・子育てで離職中の主 婦が、子連れで仕事や 資格探し等に来館する ことも考慮 し、駐車場が確保され ていること ・連携する産業支援等 の関係機関等と近接し ており、各機関等に取り 次ぐ場合に 利用者が足を延ばしや すいこと ・商業施設やオフィス 等、多くの人の出入り がある他の施設と隣接し (或いは合 築され)、いわゆる「つ いで利用」やながら利 用(カフェに本を持ちこ み読 書等)が容易で、図 書館の存在をアピールし やすいこと、等		検討項目	○	○		実施	R2.5月に新永和図書館に移転し、立地環 境が暫定永和時と比較すると、近くに交通機 関があることや複合施設内であることは大きな 相違はないが、新永和が東大阪商工会館内 にあることや日本政策金融公庫東大阪支店 が近くにあることなどビジネス支援で連携する 関係機関と近接し、各機関との連携がとりや すい環境となっている。	R 2.5	産業支援等の関係機関(東大 阪商工会議所、東大阪労働基 準監督署、日本政策金融公庫 東大阪支店等)と連携し東大 阪ビジネス支援サービスに取り組 む。	
34	3.ビジネス支援 サービス	3.3.実現に向けた 課題	(3) 利用拡大 (立 地・PR)	(ii)広報・PR	市のホームページや広 報等の様々な媒体を通 じ、サービス内容の周知 を繰り返す必要がある。 また、利用促進のための ツールや仕掛けを用意 する等の工夫も検討し ていく必要がある		検討項目	○	○		実施	暫定永和図書館時代から布施公共職業安 定所と連携し、求職活動中の人に就職情報 や資格試験情報など図書館資料を情報提 供することや相互の機関が開催する場所な どに出向き図書館サービスのPRを行ってきた。	H28.10	新永和図書館においてビジネス 支援コーナーでの閲覧環境やサー ビスカウンターの設置などが整い、 図書館ウェブサイトや連携機関な ど様々な広報媒体を使って利用 者増に向けて取り組んでいく。 R4年度は「商工月報」を通じた 広報を実施。他にも、包括連 携協定締結企業に対し、電子申 請・電子図書館・出張図書館・ 雑誌スポンサー等の内容を記載 したチラシを配布。	
35	3.ビジネス支援 サービス	3.3.実現に向けた 課題	(4) ビジネス支援の 知識を有する司書 の配置	業務に関連する知識や ノウハウを有する司書の 配置に努める			実施項目	○	○	○	実施	兼任によるビジネス支援担当を配置してい る。	R 2.5	継続してビジネス支援担当スタッ フを配置する。	
35	3.ビジネス支援 サービス	3.3.実現に向けた 課題	(5) 関係機関との 連携	サービス開始前から定期 的に情報交換や意見 交換を行い、双方の担 当職員が継続的に連絡 を取り合うよう努める			実施項目	○	○		実施	永和図書館(暫定)時代から大阪府立中 之島図書館やハローワーク布施などと情報交 換や連携イベントなど行っている。	H28.10	東大阪商工会議所、東大阪労 働基準監督署、日本政策金融 公庫等と連絡会を立ち上げ定期 的な情報交換や意見交換を行 い、東大阪ビジネス支援事業の 情報発信に取り組む。	